

第4回市立図書館再整備検討委員会 会議録

- 1 日 時 令和元年8月26日(月曜日) 13:30～
- 2 場 所 福島市役所 庁議室
- 3 出席者 西内みなみ委員、川崎興太委員、箭内裕二郎委員、阿部貴史委員、
波多野清美委員、齋藤裕子委員、服部美里委員、佐藤淳子委員、庄司朝子委員、
鈴木孝昭委員、菅野俊之委員

欠席者 菅野富美委員

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 議事
- (3) 閉会

5 概 要 議事内容について事務局説明後、質疑応答、意見交換

6 委員の主な発言

(設置要綱の規定により、委員長が議長を務める。)

○議長 事務局より議案の説明をお願いします。

- 事務局 (1) 高校生アンケートの結果概要について……………佐藤館長補佐 説明
(2) 行政視察の結果について……………佐藤館長補佐 説明
(3) 第1回及び2回検討委員会の振り返り……………佐藤館長補佐 説明
(4) 新しい図書館本館のコンセプト……………二瓶館長 説明
(5) 新しい図書館本館の適地選定……………二瓶館長 説明
(6) 今後のスケジュールについて……………佐藤館長補佐 説明

○議長 ただいまの事務局の説明に関し、まず、質問を受けたいと思います。その後で
ご意見を頂戴いたします。

○委員 高校生アンケートについてですが、7頁の問1(中心市街地の図書施設の認知
度)についてですが、高校生の4割は知らないということですか。

○事務局 その通りです。

○委員 そもそも図書館を知らないというのは残念です。新しい図書館を作る際には、
認知度が落ちない場所に、適地選定してほしい。

○委員 シートの23頁「5-3 候補地の適地検討」についてだが、「3) 現在地」と
して、「②場所がわかりにくく、バス停からは心理的にも距離がある」と結論付け
られているが、文化幼稚園前の「宮町バス停」が新しく新設されたことも、この
検討事項には含まれているのか。

○事務局 運行本数が少ない上、文化幼稚園や労働金庫のビルに隠れて、見えないという
事情があります。

○委員 事務局からの説明を聞いて、「1) 駅東口地区市街地再開発事業地域」「2) 本庁舎西棟用地」「3) 現在地」の3つの場所のいずれもふさわしくないということで、新たな適地を探すことでいいのかを委員のみなさんに確認したい。駅前や西棟は、立地としては確かに厳しいが、現在地から移転するとしても、地元住民がどう思われるかを考えなくてよいのか。この際、道路や現在地のバス通行が可能なのであれば、バス停を移動させ、現在地の利便性を向上させることも、ひとつの方法ではないか。

○委員 シート24頁「5-4 候補地の適地検討(まとめ)」の中で、現在地については、新浜公園(100円)バス停から300m程度で遠くはないし、「場所が分かりにくい」として「×」と結論付けてよいのか。現在地の場所が分かりにくいのは、本館が古く周辺の建造物に隠れて目立たないということであり、評価を上げて「△」でいいのではないか。

ただ、私は、基本的に現在地での図書館再整備で良いとは思っていない。現在地の建物を解体して、新築を目指すのでは、時間がかかり、その間、1年程度は長期休館となって市民サービスに支障がでてしまうと考えている。新たな場所に新館を作り、引越しをするのであれば、1ヶ月程度の休館で済むので、新たな用地があれば、そのほうが良いと考える。

○委員 どの場所が良いか明確な考えは持っていないが、既存の敷地における建て替えが、「公共交通とのアクセス」と「場所が分かりにくい」の2つが「×」のため、用地として全く否定されるとは思えない。現在地の建物を解体して、新築を目指すのに時間がかかるのであれば、公会堂用地などを活用することも不可能ではないと思う。

隣地の気象台の土地は、市の所有の土地であると聞いている。場合によっては、そちらにも建築の可能性があるのではないか。「現在地」を現段階で除外してしまうのは、まだ早いのではないかと思う。

また、市においては、小学校の統廃合も中心市街地で検討されていると聞いており、その用地を検討してはどうかと前回発言した覚えがあります。その余った用地も検討の余地があるのではないかと思います。

○委員 これから新しく作る図書館なので、たくさんの市民に利用していただくことを前提に立地を考えなくてはならないと思う。「現在地」には、あまり市民の魅力が感じられない。駅周辺とか、会社や学校に行く人が集まる場所に建ててほしい。

子育て世代が利用しやすい場所に建設してほしい。駅前だと新しい大学が建設中であり、若い人の利用者増も見込めると思う。

また、建物ばかりにお金をかけることにこだわらないで、人材の研修や育成などのソフトの面で、お金をかけることも検討してほしいと考えます。

○委員 現在、私が現在の図書館を利用している感覚としては、決して分かりやすい場

所であるとは考えていない。新しい本館としての立地としては、現在地は望ましくないとは思いますが、第2回目で配布された「福島市内の図書施設の位置図」を見ると、各地区に学習センター図書室が配置されているのが分かります。現在地から図書館が移転してしまうと、駅東側の中心市街地から図書施設が全くなってしまうのではないかと思います。以前から利用していた方々が、現在地から図書館がなくなってしまうことを考えると、不便さを感じるのではないかと思います。

○議長 「5-5 適地の選定について」は、「再編後の公共用地などを軸に市の総合計画の中で、調整していく」という考え方で見た場合、委員のみなさんの考え方を聞き、中間報告としてまとめていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 視察の結果、米沢図書館を参考にして考えると、福島市の人口規模だと駐車場は200台程度の規模が必要だと思います。

資料では、3案全てが適地でないとしてあるが、今後公共用地の再編で総合的に考えても、道路の問題などが出てきて100点の場所はないではないと思います。

現時点で、3案が全て適地でない決めない方がいいかと思います。

○委員 東根市図書館を視察して感じたのだが、私の住む福島市北区画整理事業区域と似たような印象を受けた。集客施設としてイオンや飲食店、新興住宅地もある。浪江町の仮設住宅内には図書館もあった。このような立地場所は、車移動が主な子ども連れの家族にはやさしいが、公共交通機関を利用する高齢者には利用がしづらいつらいつらと感じた。まちなかに作ると、やはり駐車場の確保が厳しいと思います。

○委員 本市の配本サービスは、全国的に稀な取り組みであると聞いている。各地域の学習センター図書室の利用を中心に、現在の本館利用者ファーストで、駐車場は、あまり広くとらなくてもよいのではないかと。

○議長 今後の少子高齢化社会を考えると、コンパクトシティの考え方が市の総合計画の中でも議論されているが、将来必要となってくる考え方だとすれば、果たして大きな建物や広い駐車場が、将来私たちが目指す図書館として必要となるのでしょうか。

○委員 子育て世代や高齢者世代が、絵本や一般書を借りに行くなら、身近の地域学習センター図書室でも間に合う。私は第2回目の会議で、郊外の立地条件が良いと発言したが、子育て世代のみなさんの中には、そういう意見があるのも確かです。図書館の立地条件の何に重点を置くかで、場所は決まってくると思う。広い駐車場が無くては魅力がある図書館ならば、公共交通機関を利用してでも集客は見込めると思う。駐車場ばかりにこだわらなくても良いという思いになってきている。

○委員 立地場所も重要だが、まずは基本コンセプトをまとめなければならない。

シート7頁の米沢市立図書館の視察写真の中で、自働貸出機が見て取れるが、このような無人で貸出・返却が済んでしまう米沢図書館や東根市図書館には、疑問を感じる。職員と利用者の、人と人が触れ合う接点をカウンター業務の中で持つことが、市民サービスにおいては必要ではないか。

建物を立派に建設しても、職員の賃金に影響するような見直しでは困る。多角的な市民の利用に対応できる専門職員の充実にも投資してほしい。この部分を、今後の報告書の作成の中で、付け加えてほしい。

○副委員長 このような議論は、公共施設全体の再編整備の議論の中でしないとコンセプトとしてはまとまらない可能性もあると思います。そうすると、この検討委員会の議論の枠を超えてしまう可能性もあると思います。

中心市街地には他にはない魅力や良さがたくさんあって、そこに立地するためには、犠牲にしなければならないこともあると思います。駐車場は、犠牲にしなければならない部分で、すべての条件で100点を目指すのは難しく、ある程度の妥協は必要である。公共交通のアクセスは、立地には絶対必要だと思います。逆に、駐車場を使わない人でも公共交通を使えば、集まると思います。場所というのは、コンセプトそのものになってしまうと考えていて、そのあたりの議論が必要と考えている。

○事務局 「現在地」については、前回の会議でお示ししたとおり、市民アンケートの中で、「交通が不便である」というご意見が、かなりの高い数字で示されており、その結果を踏まえて、立地条件として整理させていただいた経過はある。

○副委員長 シート17頁「4-3 新しい図書館本館のコンセプト(案)」の中で、「(2)学習スペースは、必要最小限整備する。」とあるが、必要最小限にする意味はなぜですか。これこそ立地にかかわる大きな部分を占めていないか。

○事務局 類似機能として、中心市街地には「アオウゼ」があるので、利用者である学生を取り合うことになり、すみ分けが必要であると考えたからです。しかし、学習スペースとしては必要最小限にするとしても、本来の機能として「調べもの」をするスペースは、図書館には必要であるという意味で、適正な規模を踏まえたいうえでの議論としていただくための記載であります。

○委員 「学習スペース」についてですが、「アオウゼ」は、学生が並んで場所を確保して使っている状況であり、利用したくてもできない学生もいるので、現状を理解していただきたい。

○委員 福島市の子どもたちの学習レベルを向上させるという意味で、学習スペースを「必要最小限」の施設とは考えないでほしい。

また、「本館」という施設がどのような施設であるべきなのか、位置づけを考えて、「施設の魅力」を市民にアピールできる「しかけ」を作してほしい。そうすれば、おのずと人が集まってくると思う。

郊外にでは利用者が減ってしまうので、公共交通機関の便を考慮した中心市街地の空き地に、本館機能をしっかり備えた建物を作ってほしい。

○委員 「学習スペース」の「必要最小限」というのは、「必要最小限」という表現がマイナスイメージで誤解を招く、「必要かつ適切な」みたいな表現が良いと思います。

○委員 学習スペースの運営のあり方は、コストの観点から「アオウゼ」の課題となっている。適切な規模及び可変的な運営についても検討が必要である。

○議長 シート25頁「5-5 適地の選定について(案)」として、「2)再編後の公共用地などを軸に市全体の中で、総合調整」については、適切な整備が必要だという意見があり、その中で駐車場よりも公共交通機関を利用できる立地条件と、にぎわい創出を目的とした場所。また、適切な学習スペース及び人と人とが触れ合える環境作りや職員の配置などが必要だとして、ある程度合意形成ができたものと考えますが、皆さんいかがでしょう。よろしいでしょうか。

また、公共交通機関の整備も必要だということで、よろしいでしょうか。

○委員 公共施設の再編整備を考えるにあたっては、具体的に用地の候補地がわからないと、決められないと思います。

また、委員の中から出された小学校の再編整備を踏まえて図書館用地を考える点については、統廃合時期が合致しないと、図書館用地の候補にはならないと考えます。

○議長 それでは、皆さんからの意見もひと通りお聞きしましたので、次回開催の日程調整については、この場では難しいということで、別途事務局より連絡を頂きたいと思います。以上で審議を終わらせていただきます。